

○市民意見の整理及び検討表

分科会名：政策討論会第2分科会（生活環境、健康福祉、教育文化に関すること）

＜議会として課題とすべき内容＞

①新型コロナウイルス感染症の対応について

未知の部分が多い新型コロナウイルス感染症について、市民の不安を少しでも解消するために電話相談など迅速的確な体制のあり方、医療・介護福祉関係者への支援策の必要性、今後取り組みが始まるワクチン接種の体制整備、感染症に危機感を持たず予防する取り組みを守れない市民への理解活動と情報発信のあり方などについて、議会としてどのように対応していくべきか問われている。

②地域防災の取り組みについて

2019年にあった台風19号の際、避難所に市民が殺到し施設が定員になる前に駐車場が混雑し、荒天の中を別の避難所へ移動する事例があった。避難所のあり方や市からの情報提供のあり方について、議会としても地域の状況を把握するなど今後どのように対応していくのか問われている。

③不登校児の居場所づくりについて

県立中学校に通う生徒が適応指導教室の利用を施設に相談したが断られた。県立中学校に通う生徒とはいえ一市民として分け隔てなく支援の手を差しのべるべきである。

【主な意見】

①感染症に係る市民への情報発信について

- ・プライバシーには十分配慮し、個人名までは求めないが、感染者の行動歴などある程度の情報提供は必要ではないか。
- ・一般市民向けに正しい予防方法や生活方法を広めてもらいたい。
- ・感染した場合の電話相談・検査・治療が迅速適切に受けられる体制づくりの整備が必要である。
- ・医療関係者・介護福祉関係者への支援策のあり方の検討してもらいたい。
- ・ワクチン接種の優先順位を含めた平等でスムーズな接種体制の整備してもらいたい。
- ・国の要請や指示を守れない人の行動を処罰する法改正も必要ではないか。
- ・市民を対象としたPCR検査や簡易検査を無料で行えるようにならないか。

②地域防災の取り組みについて

- ・大雨の際、避難勧告・指示が発令された時、避難所に避難者が殺到し定員オーバーと判断し激しい雨の中を別の避難所へ移動する危険にさらされた。避難所のあり方や情報提供のあり方を議会として課題解決に取り組んでももらいたい。

③不登校児の居場所づくり

- ・県立中学校の生徒が不登校になった場合、支援機関を利用できないのはおかしいと思う。できないのであれば、代わりに何かあってもよいのではないか。